

草作の發展とその將來

田垣住雄



日本の國土經營には

草作の大なる發展が

なければならぬ

日本の國土で農業に利用せられている面積は、國土面積の僅か一四%に過ぎない。耕地以外の農用地を含んでもやつと一八%である。残りの國土八二一八六%がどんな形態で經營せられているかという点を観察すると、日本は世界中で農業經營力の最も乏しい国であることがわかる。

スイスのような山国でさえ、アルプスやユラ山系を牧野に開発して、樹木限界を越えた高山草地にまで、草生を改良し牧草地を培養して、夏は生草、冬は乾草を主として、北海道の半分くらいの國土で百数十万頭の乳牛を養っている。國土面積の四一%

紀の長年代を経過しているのであって、このような國土經營方針を確立して、幾代また十数代といふ世代を経て、今日の優秀産業形態に進んだのであるが、北海道のごときもこのような大方針で進むならば、三百萬頭の乳牛くらい養い得るだけの國土生産力が草産から發揮されることを認識しなければならぬ。しかもこれは単に一北海道だけの問題ではない。平地の少ない、山の多い日本全体としての実に大きな問題である。

山の頂上に積雪が永く残つてゐるほど、高山草地の灌漑に適し、森林限界よりも草生限界が高地であることを考へると、日本特に北海道の山系地帯では、綠化工作が單純な樹林生産ではなく、草産にめざめなけれ

第一 國土經營的發展 第二 農地的發展 第三 園芸的發展

が放牧採草用の牧草地、一二%が森林、一二%が穀菽作地となつて、國土の七五%が完全に經營せられてゐる。もちろん、かような山草地とを仕上げるには數世

ばならぬことが明らかである。
綠化運動が全國的に展開せられて、苗木などの配布や植林補助の援助などが國家的に進んでいるが、草生改良や草産補助の方もこれと同じように、日本の各地の山野に適する草種の種子や苗などの配布と、山野草地の經營に割期的な施策を樹して強力にこれを推進せなければならぬ時代はすでに来ているのである。

この点で倉田氏のツルマメやオオバツルマメの育種改良が進んで普及の段階にきたことは喜ばしい傾向である。

農地的發展は 草作が既成の耕地内に 限局せられるようでは

大なる進展は望まれない

穀菽作偏重の農作が行詰つてから、農牧混同の經營が勃興し、草作が極めて重要な作物としてとり上げられたのは大体二〇三世紀前頃からである。主な牧草の成立を時代的に検討すると次のとおりである。

日本でも有畜農業が叫ばれて、牧草作が相当耕地内に織り込まれ、輪作草地として発展している。

英國でも古いもので、ギリシャ、ローマ時代から栽培せられたが、はじめは綠肥効果を中心としていた。ペルシャで早くから栽培したが、英國では十七世紀、米國では十八世紀から用いている。英國で十八世紀。

綠肥として二千年くらい前から用いている。

科	禾本科	豆科	主な牧草	草作的發展の概略
オーンレスブローミングラス	ペレニアルライグラス	ルードクロバーチ	最古のもので、ギリシャ、ローマ時代から栽培されたが、はじめは綠肥効果を中心としていた。	ペルシャで早くから栽培したが、英國では十七世紀、米國では十八世紀から用いている。
チモシー	オーチャードグラス	ホワイトクロバーチ	英國では三百年前頃から栽培している。	英國では十八世紀から栽培した。
			米國では十八世紀の初め頃から栽培した。	米國では十九世紀の末頃から栽培した。

米國が約一世紀にわたる牧農分離の經營から、分離經營の不合理を悟つて、牧農混同の經營に移つたのが十八世紀の初期であるから、米國の牧草の發展はこの時代をスタートとして全土に普及した。そして草作の經濟価値や土壤保全効果を認識するにつれて、平地牧草から傾斜地または荒蕪地に適する草作の創意に進んだ。そして十九世紀になつてから日本のヤハズソウを移植して、中部地方でジャパンレスペデザ（ジャパンクロバー）といつて効果を挙げたので、さらに二十世紀になつてから神戸の六甲山のヤハズソウや、朝鮮、ハルピンのマリバヤハズソウを移植して、前者よりも北向きの新品種を創造した。この時代にメドハギやクズなども栽培草に移植改良して、クズでは茎長六寸にも達するものを生じ、これは主として南部の急傾斜地用として普及せられ、土壤保全及び乳牛飼料として発展している。

発展しているが、牧草栽培という見解が既成耕地内に限局して、洋名の改良品種の栽培にとらわれ、穀作同様の観念からほとんど一步も踏み出しえないことが、草作の伸展を著しく阻止している。

前記の米国での草作発展を見ても、草作という不稳定性で、しかも穀作不適地でも栽培が可能であるという草作の特色を十分に活用して、農地を拡張し土壤を保全し地力を増進して、次第に農作地の拡大を図るといふような経営上の著想が進んでいない。

デンマークが沃地を失つてから今世紀の間にすでに百三十万町歩の農耕地を増成したこと、農地改良とともに草作を振興したことが先駆となつていることを見のがしてはならぬ。

日本の農土改善、有畜農、酪農などが急進し得ないのは、草作または草地農法という農業の本質を完全に理解して農業経営または農地開拓に活用していないことに起因する点が少くない。

園芸部門への高度の発展も

また重要な方向である

園芸といふと、蔬菜、果樹、花卉などの集約栽培であつて、新鮮な食物生産を対象にして、農園の芸術的な作品を造り出すのが目的になつてゐるが、現代では單に園芸作物だけで經營するよりも、さらにこれに園芸家畜を織り込んで、新鮮な乳肉卵など動物生産が加入せられるようになつて、園芸的な芝生からさらに各種の牧草が園芸作物として重要視せられるようになつた。

そしてこの傾向は一般の農業でも、從来の穀作作物一点張りの農作から有畜農業に進んで、牧草作が織り込まれるようになつたことと軌を一にしているわけである。

イギリスの海峡諸島（ジャージー）では、高度園芸が乳牛・養豚・養鶏などと結び付いて著しい発展をしている。またオランダのポルダーが酪農の中心地であるとともに花卉やトマト、玉葱などを蔬菜や觀賞用球根類など世界的な生産地に発展している。

かように高度の園芸は、園芸作物と園芸家とのほどよいコンビで、新鮮動植物質食料を生産する方向に集約せられ、また芸術化せられて、優良な生産と高度な經營に向つて発展している。

日本農業が世界農業に遅れていますが、これを完全に咀嚼して農業施策または国土開発施策の農業経営であつて、この草地農業の見解がまだしつくり農業民に受け込んでいないことや、農政や農業経済の施策が、これを完全に咀嚼して農業施策または国土開発施策に織り込んでいためであつて、小農制とか零細農制とか既成耕地の農作観念に捉われ、穀作の稔性作物栽培を基本とし、平地の狭い面積内にこだわつてゐるところに、農地の発展性または国土の生産性が狹縮せられている原因がある。

決して国土の狭隘性が農業の発達を阻止しているのではなく、国土の利用性が外国に比べて著しく低く、農地的観念が草地にまで延び、さらに林生と草生とを含んで国土

の全面を經營化するような構想にまで至っていないことが、農用地をおのずから縮少しているのである。したがつて、日本農業

が山野に向つて草生を培養し、林生とともに適地適産の姿を進めるならば、農業の発展は今後に残されている広大な国土七八割の面積に大きな希望を持つて進むことができる。そしてその經營態が完成すると、はじめて世界農業と比肩して經濟や經營が成り立つ時期が到来するであろう。

蒔かぬ種子は生えぬというから、この点で日本の草地農業の良品種を選択して、その種子や苗を少しでも早く増産して、全国に普及させることができ何よりも大切なことになる。この点ですでに雪印種苗が先鞭を打つて実践に着手せられ、さらに月刊誌を通じて新日本農業の建設にスタートされたことは欣快に堪えぬ。まさに時代に適応し将来の發展を期して待つべきものが多い。

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

▼一力年の購読料が僅か二百圓

一年半以来発刊して各位の絶讚をいたしております。

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

将来の發展を期して待つべきものが多い。

将来の發展を期して待つべきものが多い。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

「牧草と園芸」

豫約購読のすすめ

弊社は日に月に進歩する酪農並びに園芸界の新しい技術と經營の在り方、または新優良種苗の解説等を、斯界の権威者に毎月発表していただくと共に、篤農家及び読者の体験記録をも掲載する、月刊雑誌「牧草と園芸」を本

年三以来発刊して各位の絶讚をいたしております。

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）

次に予約購読と読者の特典を掲げてお譲り申します。

（筆者は草地農業の提唱者であり卓拔なる権威者である）